

# 中島議員の一般質問について

令和6年3月定例会から12月定例会までの  
主な一般質問とその答弁

## 中島議員の一般質問動画



3月



6月



12月



## 3月定例会

### 『豊田市における障がい者福祉施策のあり方』

#### 障がい者福祉施策の今後の方向性

**Q.質問** 障がい者に寄り添った施策推進のために、当事者参画の充実、市役所体制の見直しなどを行い、ゆとりのある体制のもと、取り組むべきだと考えるが、障がい者福祉施策の今後の方向性について、豊田市の考えは？

**A.答弁** ▶「第5次障がい者ライフサポートプラン」では、「障がいのある人もない人も分け隔てなく、誰もが安心して自分らしく生きられる地域共生社会の実現」を基本理念に掲げている。

▶この基本理念を達成するため、障がい者やその家族などの支援者の声に耳を傾けるとともに、関係機関等と密接に連携し、障がい者が将来に渡り、地域で希望する生活を送ることのできる質の高い環境整備を進めていく。

## 6月定例会

### 『中心市街地における商業活性化に向けた取組』

#### 中心市街地における商業活性化の現状

**Q.質問** 豊田市の特性に合ったにぎわいのあるまちづくりを目指し、中心市街地の商業の活性化に向けて豊田市の考えは？

**A.答弁** ▶中心市街地では、都市施設の工事が本格化し、当面の間、歩行者動線や、公共的空間の活用などへの影響が懸念される。

▶まちなかの魅力を向上し、賑わい創出を図るためには、第4期計画事業の着実な推進、特に、商業分野においては、豊田市の特徴を生かしたテナントミックス事業の推進が重要。

▶大型イベントとの連携等を強化することで、まちなか回遊や消費行動の促進につなげることも重要と考える。

## 12月定例会

### 『豊田市職員の活躍向上に向けた取組』

#### 豊田市職員の活躍に向けた取組

**Q.質問** 障がいのある職員のさらなる活躍を目指して、どのように見直していくのか、次期豊田市職員障がい者活躍推進計画への反映を含め、今後の取組は？

**A.答弁** ▶現行の豊田市職員障がい者活躍推進計画は、令和7年3月を以て計画期間が満了するため、現在、次期計画の策定作業を進めており、新計画では、「採用」、「業務」、「支援体制」、「職場環境」の4つの視点で障がいのある職員のさらなる活躍に向けた取組を進めていく。

▶具体的には、職場実習の積極的な受け入れや障がい特性に配慮した採用選考の実施、一人ひとりの障がい特性や能力等に応じた業務の選定、庁内相談窓口の設置、就労支援機器等の積極的な活用などといった取組を進め、全ての職員がいそいそと安心して働ける環境を整備していく。

#### 豊田市職員の副業・兼業制限緩和に向けた取組

**Q.質問** 公益性や社会貢献の高いもの、地域の人手不足の解決策などにつながるようなものであれば柔軟的に認めるなど、副業や兼業を促進すべきではないかと考えるが、豊田市職員の副業や兼業制限を緩和する考えはあるのか、今後の方向性は？

**A.答弁** ▶豊田市では、これまで公務能率の確保、職務の公正の確保、職員の品位の保持を目的とする地方公務員法の規定の趣旨に則り、営利企業等への従事を制限する一方、地域貢献活動への参加や自己研鑽を目的とした営利企業等への従事については、職員のスキルアップや業務意識の向上も見込めることから許可基準に合致するものについては前向きに許可を検討してきた。

▶今後も、許可基準を遵守したうえでの地域貢献活動等への参加や自己研鑽は積極的に推奨していきたい。

## 中島議員(市議会会派・新しい風とよた)の討論について

令和6年3月から12月定例会までの主な賛否討論

**賛成**

### 学校給食費無償化に関する議案について

子育て環境ナンバーワンのまちを目指し、全てのこども園や小中学校等の給食費無償化を進める施政方針を大いに評価します。19億6900万円余と大規模な財政支出のため、本来なら国が責任をもって実施すべきと考えますが、豊田市が国に先駆けて実施するという点で大いに評価できます。引き続き国に働きかけ、国庫負担による給食費無償化を実現することを期待し、賛成いたします。

**賛成**

### こども園における職員(保育士)の配置基準の見直しについて

豊田市の満3歳以上児の職員配置基準は現在、国の基準よりも手厚くなっていますが、今回、国の基準の改正に伴い、令和7年度以降さらに年齢ごとに段階的に手厚くなります。基準の改正により、職員の負担軽減につながるだけでなく、安全・安心な保育にもつながるなど様々なメリットがあることを評価いたします。次期計画である第9次豊田市総合計画では「こども起点」を掲げる予定であることから、0から2歳児のさらなる基準の見直し等、職員の負担軽減、質の高い保育、安心して預けられる環境づくりが進むことを期待し、賛成いたします。

**反対**

### 市長や市議会議員等のボーナスの引き上げについて

企画総務委員会における質疑では、本議案の提案にあたり、「人事院勧告に準じた改正としており、市内事業者、市民の景況感の把握はしていない」とのことでありました。そこで、豊田信用金庫と豊田商工会議所が共同で調査し、とりまとめた豊田景気実感調査(12月20日付け)を入手し、検討いたしました。すると2~3ヶ月前に比べた現在の景気実感である「現状判断D1」については、家計、企業、雇用のいずれの項目も全国を下回っていました。また、現状と2~3ヶ月前の景気変化の予想である「先行き判断D1」については、雇用がぎりぎり50点になりましたが、雇用も含めすべての項目が全国を下回っています。現在の景気水準の判断である「水準判断D1」についても、すべての項目が全国を下回っており、資料では「豊田の景況感は全国比で弱くなりながら足踏みの状態」という評価でした。このように本市では景況感が高まっていない状況のなか、議員や特別職の期末手当の引き上げは市民理解が得られないと判断し、反対いたします。

## 市議会会派「新しい風とよた」政務活動費の執行状況について

令和5年度執行実績及び  
令和6年4月から令和7年1月までの執行状況

### 令和5年度執行実績

項目	執行金額(円)
研修費	371,843
調査研究費	172,972
資料購入費	33,200
広報広聴費	359,300
事務費	8,988
合計	946,303
残額	853,697

※それぞれの支出項目に含まれている意思疎通支援者謝礼(手話通訳等)の総額は118,572円でした。残額については、全て市へ返納しています。

### 令和6年度執行状況(令和6年4月から令和7年1月まで)

項目	執行金額(円)
研修費	136,184
調査研究費	225,224
広報広聴費	210,251
事務費	2,828
合計	574,487

使用目的
「第20回全国地方議員交流研修会in沖縄」などの各種セミナーほか
会派行政視察「三鷹市福祉Laboどんぐり山プロジェクトについて」(東京都三鷹市)、「借上型市営住宅制度について」(埼玉県春日部市)、「新耐震基準に基づく木造住宅の耐震診断・改修費助成について」(東京都葛飾区)ほか
新しい風とよた会派会報、市民交流会
事務用品

※政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部を補助し、議員の政策形成能力や審議機能の強化のために、会派及び議員(会派に所属する者を除く。)に対して交付しています。交付額は一人あたり年間60万円以内で、余ったら市に返還しなければならないというルールがあります。各派の執行状況については豊田市議会ホームページや豊田市役所南庁舎1階にある市政情報コーナーで閲覧できます。

※それぞれの支出項目に含まれている意思疎通支援者謝礼(手話通訳等)の総額は90,952円です。※三人会派新しい風とよたに所属しているため、年間180万円となります。

## 市政・議会に関する意見や要望などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

【発行】心が聴こえる市政の会

【発行責任者】中島 竜二 豊田市花園町小泉82-1 FAX.53-1499

[中島議員は耳が不自由です。ご連絡の際には、FAXかメールにてお願い申し上げます]

E-mail:nakajimaryuji@outlook.com

https://nakajima-ryuji.com/

